

041 音楽で防災・減災をもっと身近に

取組主体

Bloom Works

従業員数

想定災害

実施地域

2人

地震等

兵庫県

- 音楽を通じて防災・減災の啓発及び将来災害が起こり得る地域との関係構築を行う、神戸発の防災音楽ユニット。
- 防災知識を織り交ぜた歌やおしゃれな防災グッズ、防災音楽イベントの開催で多くの人を巻き込む。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

ポップな音楽を通じて、若者に防災を浸透させる

- 「Bloom Works（ブルームワークス）」は、防災士の資格をもつ日本のボイスパーカッションの第一人者と、シンガーソングライターの名によって結成された「防災音楽ユニット」である。
- 二人とも阪神・淡路大震災で被災した経験を持ち、語り部として全国の学校等で防災の大切さを伝えたり、被災地支援や防災イベントに関わってきた。その中で、そうした活動に参加しない、防災に関心の薄い人をいかに巻き込むかがとても重要であり、音楽であれば興味を持ってもらえるのではないかと考えたことをきっかけに、活動を開始した。
- 防災に関心の薄い人にも聞いてもらいやすいよう、楽曲づくりにおいては親しみやすさ、楽しさ、格好良さを重視している。曲調は防災啓発ソングであることを前面に出さず、日頃から口ずさみやすいポップス調にしている。また、アクセサリ感覚で使用できる救命笛等の防災グッズをアーティストグッズとして製作しており、この笛を楽曲内でも使用するなど、親しみやすい防災を追究している。
- 同ユニットは、防災をテーマとした音楽フェスを開催し、その会場の中で防災を自然と学べるような企画を実施している。平成31年4月に開催した第1回目の防災音楽フェスでは、来場者とともに200以上の風船を束ねてバルーンを作り、南海トラフ地震による想定津波高34mの高さまで浮かせることで津波の高さを体感したり、公園内のマンホールトイレを使用するワークショップ等を開催した。
- 同フェスには2千人が来場し、そのうちアンケートに回答した方の9割が「このフェスに参加したことで防災意識が向上した」と回答した。また、フェスの実行委員は大学生が主体となっており、若い参加者が多かった。
- 災害の記憶や教訓は長年にわたって継承することが難しいという課題があるが、同ユニットは歌やイベントという形で、無理なく楽しく、次世代へ継承していくことを目指している。



2人とも防災士の資格を有する



腕に着けて吹く笛である UDEBUE



バルーンで想定津波高を体感

海外で音楽が命を救った実例から学ぶ

- 平成 16 年のスマトラ島沖地震の被災地であるインドネシアのシムル島では、実際に音楽で多くの命が救われた例がある。この島では 100 年にわたり津波の教訓を歌で継承してきた結果、震源のすぐそばであったにもかかわらず、奇跡的にほとんどの住民が助かった。同ユニットは、「音楽で防災を実現した文化や思い」を知るために、令和元年に現地へ渡航した。
- 現地の津波伝承歌の継承者と直接対話し、一緒に演奏することを通じて、音楽での防災意識向上に関する学びを深めた。また、津波博物館や震災遺構、震災遺児支援学校へも足を運び、津波災害そのものに対する理解を深めた。



スマトラ島沖地震の被災地で、津波から人々を救った歌を学ぶ
(CAMPFIRE プロジェクトサイト：令和元年 11 月 27 日)

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同ユニットは、歌を通して防災のメッセージが心に織り込まれることで、いざという時にその歌を思い出し、冷静な対処をとってもらえるようにとの思いを込めて楽曲を制作している。
- 趣旨に賛同した全国のアーティストに防災音楽フェスへ出演してもらうことで、日頃から全国の被災地や将来災害が起こり得る地域とのつながりを作ることができ、いざという時に助け合えるネットワークの構築にもつながっている。

“僕の身長は本当に171
サバ読んでないよ本当に171
男子の平均身長も171
災害伝言ダイヤルも171
いざという時思い出して”

— 『171』

“ちょっと待って手を止めて
そのソース 出どこはどこ？
くだらないリアルより
惹かれちゃう わかるけれど
その情報リツイートして良いの？”

— 『FAKE』

歌詞に防災のメッセージを織り込んでいる

3 現状の課題・今後の展開等

- 同ユニットは、音楽で防災のメッセージを広めるために、どのような伝え方がより効果的か、さらなる検証と、自らの認知度を高めていくことが今後の大きな課題と考えている。また、より多くの人に認知してもらうため、全国デビューや全国ネットでのメディア発信を目指している。

4 周囲の声

- 防災に関心の薄い人いかに訴求していくかが時代の要請であるから、Bloom Works の活動意義はとても大きい。（防災を専門とする大学教授）
- Bloom Works の音楽を繰り返し聴く中で、災害用伝言ダイヤルの番号等、防災にとって大切な知識が身に付いた。（同ユニットのファン）

担当者の声

- 防災に欠かせない自助、共助を進める上で大切な「人とのつながり」「顔の見える関係性」を、フェスや日頃の音楽活動では重視しています。そのことは結果的に、防災・減災以外にも様々な場面での助け合いにつながり、また、より良い地域づくりにもつながっていると感じています。
- 防災に関し、素晴らしい取組や、大切な活動をされている方はたくさんいらっしゃると思います。それらをさらに広めていく上で、音楽で楽しく伝える力になればと願っています。自治体、企業、大学や支援団体等の専門家と、一般の方との架け橋になれば幸いです。

問合せ先

Bloom Works TEL : 078-761-3064 FAX : 078-761-3064
E-Mail : bloomworksofficial@gmail.com

動画

